

各地で無料バザー、「共産党だけが来てくれた」

仮設に移ってから



平日も無料バザーに「ありがとう」の声

冬服や食料、日用品のお届けに

「初めて支援物資もらった」

救援対策センターには東京、神奈川、沖縄のみなさん70人以上のボランティアが駆けつけ、石巻市内各地で無料バザーを行なっています。

これから寒い季節を迎えるも、冬服や日用品のお届け隊に「本当に助かります」の声が次々と寄せられました。



大森仮設にはトラック7台のお届け隊

18日、吉野町では、住民の方からの「仮設住宅に入っていない人は支援も受けられない。『共産党が物資を届けてくれた』という声を聞く。こちらにもぜひ来てほしい」との声にこたえ、早速無料バザーを行ないました。周辺の140人の住民が集まり「初めて支援物資をもらった」と大歓迎されました。

19日に訪れた桃生地域では、2か所の仮設住宅に物資をお届け。「バスは一日に2本だけ。生まれて1か月の赤ちゃんもいるのに、近くに商店もなく困っていた。来てくれてありがとう」仮設に移ってから来てくれたのは共産党だけ」とたくさん感謝の言葉をいただきました。

神奈川・Mさん(18歳)

食器や洋服は並べた物の3分の1しか残らなくて、皆さん本当に必要とされていることがわかりました。バザーをする回数が増えたらいいと思います。

ボランティア参加者の声



住民の方との交流に元気をもらいました

東京・Tさん(68歳)

「初めて来てくれて嬉しい」「共産党は本当に良くやっている」との声が何人もの方から寄せられました。皆さん両手いっぱい物資を抱え、物が不足しているとよくわかりました。

移転しました！